

第1回国司館と家康御殿整備活用検討懇談会会議録(要旨)

■開催日時 平成23年12月16日(金)午後4時55分～7時00分

■開催場所 ふるさと府中歴史館3階会議室

■出席委員 9名(順不動・敬称略)

北島和一委員、松本三喜夫委員、臼井正委員、島田勇委員、石川三郎委員、
岡野光男委員、井原茂幸委員、加藤孝子委員、宗形清英委員

■出席説明員等

齋田文化スポーツ部長、英ふるさと文化財課長、江口ふるさと文化財課長補佐、
荒井ふるさと文化財課調査係主任、石井管理係職員

(オブザーバー)都市整備部計画課 角倉計画課長補佐、伊橋計画課職員

■議事日程

開会

- 1 依頼状伝達
- 2 文化スポーツ部長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 座長及び副座長選出
- 5 意見交換
- 6 その他

閉会

■議事日程

開会

事務局の司会により、全委員が揃ったため、5分前に開会した。

依頼状伝達

文化スポーツ部長挨拶

委員紹介

座長及び副座長選出

座長に北島和一委員、副座長に加藤孝子委員が決定

依頼

座長に「国史跡武蔵国府跡御殿地地区の保存、整備及び活用について」を依頼
会議の公開について

会議を公開で行うことについて、全委員が意義なく了承

意見交換

議題「国史跡武蔵国府跡御殿地地区の保存、整備及び活用について」を意見交換

その他

閉会

次回会議は、平成24年2月22(水)午後2時の開催で決定

■会議録(要旨)

○**事務局** 保存整備には5年の期間を要するため、来年度には、国や東京都等の関係機関も入った専門的組織を立上げ検討していく予定である。そのためには、市民の意見を当初予定より早急にまとめて反映させていくことが重要であることから、本懇談会スケジュールは2回の短期となった。また、次回会議は公開としたい。

(会議を公開で行うことについて、全委員が意義なく了承)

○**座長** イトーヨーカドー撤退後、地域は意気消沈している。国司館・家康御殿が発見され、国から8割の補助が頂けて保存することが出来たのは良いことであるが、地域の住民としては、地域の活性化と結び付けて頂きたいと考えている。

○**委員** ここの整備は、大きな課題であると考えている。地域の活性化がポイントになるが、3つの大事な視点がある。1として、史跡保存という大原則は守らなければいけないが、歴史と文化といいつつ、可視化が弱い。まず第一には可視化できるようにすることである。2として、にぎわいを求めるために史跡の保存に付加価値を付けることが求められる。3として、本市では史跡がありながら、その連携が弱い。本町と熊野神社、国衙跡とか関連付けてイントロデュースする必要があり、思想をもった整備をすることが大事である。

○**委員** けやき並木も、将来的には公園にしてもらえることとなった。府中の歴史文化財にはいろいろなものがあるが、それらがネットワーク化されていない。国分寺との連携も大事だと思う。ふるさと府中歴史館、国衙跡などは歩いて回れるように案内してほしい。ポイントとなる場所が分散しているが、機能を分けていく必要がある。また、街を活性化させるには、歩いてもらうのが大切であり、敷地内に駐車場はなくても良いと思う。

○**委員** 町全体を歩かせるうえで、駐車場がないのはどうか。この整備計画の中に、この場所のための駐車場が必要ということではなく、観光の観点から、大國魂神社周辺の遺跡全体としての共通の駐車場を設けた方がよいと思う。

○**委員** 市のイベントは、府中公園など府中駅北側で行われるものが多い。この場所でもやれるようにして頂きたい。

○**委員** 南側にできるマンションの影響により、昔の景色を偲べなくなり残念である。どうにかならないのか。

○**座長** 既に行われたマンション建設の地元説明会の際には、ファミリーレストランや保育所併設について設置会社側に要望を出すとともに、お祭りで花火を打ち上げる際にマンション住民の方から苦情が出ないように要望も出している。

○**計画課** 法的には規制することはできない。但し、一部景観を確保できるようにする等、かなり協力を頂くことになっている。

○**委員** 史跡なので何とかならないのか。

○**事務局** 残念ながら文化財保護法では規制はできない。

○委員 府中は歴史と文化の息づくまちである。この跡地の問題だけでなく、史跡全体の中で位置付けて考えるべきものである。史跡巡りの遊歩道を整備できないか。史跡の保存は最優先であり、調査結果を確かに保存する施設を造らなければならないと思うが、これからは活用にもウエイトを置くべきと考える。国衙跡の柱だけの整備は面白くない。人がもっと来る場所にすべきである。そして市民が来る場所にしてもらいたい。道の駅のような、一年を通して人が集まる場所にしたい。美術工芸品とかを置いたり、販売したり、音楽会を開いたり、皆が集まる場所にしたい。

見せる場所として、国司館の忠実な復元が必要であり、史跡公園にすべきである。四季折々の催しを行い、イベント造りの場として欲しい。文化と芸術の発信基地にして頂きたい。

○委員 地元商店街としては観光地化に力を入れてほしい。人が来るような工夫をして頂きたい。

○委員 商店街としては、本町駅前の広場にすると、競馬や競艇の人たちのたむろする場になってしまう恐れがあり、散らかされないようにしてもらいたい。

また、本町では、イトーヨーカドーが撤退してから、マンションの入居者が減って、家賃収入も減ったと聞いている。

なお、郷土の森観光物産館は、土日はよいが、平日は人が入っていないと聞く。常に店を開いていてもお客様が入るような施設にして欲しい。歴史的な遺跡の保存は大事なことではあるが、公園的なのはいかがなものかと思う。

○委員 史跡の所に、イトーヨーカドーのようなものは出来ないのか。

○事務局 スーパーは、残念ながら造ることは出来ない。一部に物産館のようなものがあるというのであれば可能と考えられる。

○委員 各ゾーンはあるが、歴史とのかかわりは興味深い。整備には保存上の規制が多いようであり、史跡整備には、スーパーは良くないと思っている。

一時は人が集まるが、その後はすたれてしまうような整備はして欲しくない。

○委員 府中市の観光は、どうしても市内の内輪の議論になりがちである。身銭を切って観光に来てもらうのであるから観光資源としての価値をはっきりさせることが大事である。市民が「観光、観光」と言っているだけでは観光にならない。例えば、徳川家康では日光や久能山の東照宮はよく知られているが、府中市にも東照宮があるが、PRや広報の仕方がとても下手である。江戸城の石垣でも何でも良いから、家康と関係のあるものは取り入れてゆく方向でいきたい。今までは、すべて内輪の議論で終わっている感がある。

施設の名称にも、固有名詞の「御殿地」や「御殿山」といった地名をネーミングに使うなど、いろいろと積み上げていく努力が観光資源になると思う。

○委員 市内には文化財も多く、京都のように観光地巡りが出来るようになると良い。市域全体に価値あるものが散らばっており、市内の観光ルートを、ちゅう

バスのような交通機関で歴史巡りが出来るようにすれば、観光の売りになるとともに、本町の活性化にも結び付くと思う。車を使わずに府中駅から本町駅まで歩けるような、そうした歩行者の観光整備を目指してもらいたい。

○座長 市の観光部門では観光案内人の養成をしており、案内している姿も見かけるようになったが、観光分野のレベルや推進力がまだ弱いので、もっと育成に力を注いでいく必要があると考える。

○委員 歴史的なものの紹介を何もやっていないと思っていたが、伝わっていないことが原因のようである。歴史好きには解りやすいが、伝わりにくいところがあり、ソフト面の運用を充実すべきと考える。例えば、「武蔵国府駅」とかの駅名の変更や、地域のマスコットキャラクターの作成。国府まつりを、天平時代まつり等の名前にしてPR出来ないか。国府大学、国府塾など、参加者や会員を募った体験学習やイベント参加が出来るようにする他、物産販売ではなく、歴史にまつわるものを中心にしてほしい。

また、たとえ50円でも入園料を取るのも必要ではないか。入園料が取れる施設を造るのも大切ではないかと考える。

三内丸山や吉野ケ里で出来たことが、府中に出来ないとは思えない。賑わいをつくれるはずである。

府中には歴史の勉強をすべき場所がたくさんある。観光ルートの拠点となる施設をこの場所に造れないか。観光の基地づくりが大事だと思う。お祭りや行事を行えるイベント会場として、国司館・家康御殿を位置付けて頂きたい。

○委員 公開時の施設の経営主体は市の直轄になるのか。市の直営は運営が全然ダメなところが多く、委託によるところもダメなところが多い。

また、府中の遺跡には、三内や吉野ケ里と同じような価値や知名度があるとはとても思えない。

○委員 最初から三内丸山や吉野ケ里が有名だった訳ではない。それは、遺跡の観光資源化に成功したからであり、本気でやるから本物になると考える。

○委員 吉野ケ里のように、全国から客を呼ぶような観光は無理である。

○委員 別に全国を対象とする必要はないのではないか。あえてどこから来てもらうかは大きな問題ではないと思う。市外からも来てもらえることが大切である。

○委員 鷹狩りイベントには千人もの人が来ていた。このようなイベントを毎月ごとに行い、人が来るようなものに出来ないか。それを積み上げて輪ができるようなものにしたい。

○委員 施設としては、広場なりを造り、広場へ植木を植えるなど事業の付加価値をつけるということになるのではないか。

○座長 本日はここまでとし、次回は、2月22（水）午後2時開催ということによろしいですか。本日の懇談会を終了します。お疲れ様でした。

以上